



夏の花火

校長 小松 敏彦

花火の掛け声

慶長 18 年（1613 年）8 月 6 日徳川家康が日本で初めて花火を観賞。日本では種子島の鉄砲に使われた火薬が花火へと発展しました。家康が見たのは竹筒に火薬を詰めて火を噴くだけのものでしたが、三河地方に残る「手筒花火」はこの名残だといわれています。その後花火は急速に発展し、江戸で開花します。

享保 18 年（1733 年）5 月 28 日両国の大川（現在の隅田川）にて川開き花火大会（隅田川花火大会の原型）開催。そこで活躍したのが日本橋横山町の花火師、鍵屋六代目弥兵衛です。

もともと「鍵屋」は葦（アシ）の管に火薬を詰めて星が飛び出す花火を開発し、商才もあって花火市場をほぼ独占していました。しかし、花火が火事の原因になるため町中では花火禁止令が出され、隅田川の花火だけが許されます。当時は納涼船を出して「鍵屋」に花火を上げさせるのが、豪商たちの贅沢の象徴だったようです。文化 5 年（1808 年）「鍵屋」番頭の静七が暖簾分けをし、両国吉川町で玉屋市兵衛を名乗ります。やがて川の上流を「玉屋」、下流を「鍵屋」が担当し、二大花火師の競演となりました。これを応援するための掛け声が「たまや～」「かぎや～」だったのです。

「たまや～」が多いわけ

天保 14 年（1843 年）「玉屋」の出火で大火事となり玉屋市兵衛を江戸から追放され廃業となりました。つまり、「鍵屋」から

暖簾分けした「玉屋」が存在したのはたった 35 年間だったのです。しかし、昔も今も花火の掛け声といえば「玉屋」のほうが断然多いのはなぜでしょう。

ひとつは花火の技術が勝っていたこと。もうひとつは、語呂が良いので掛け声を掛けやすかったこと。そして、江戸っ子気質がそうさせたこと。

こんな狂歌があります。

『橋の上 玉屋玉屋の声ばかり なぜに鍵屋と いわぬ情なし』

これは、実力があつたのにたった一代で花火のように消えた「玉屋」への愛情を示したもの。「情」に「錠」をかけており、「鍵屋の声がねえのもしかたあるめえ。錠がねえんで口が開かねえ」という詠み手の洒落を含んでいます。

現代なら「かぎや～」

黒色火薬で作られる日本古来の「和火」は、朱に近いオレンジ色。情緒豊かで繊細な光りを放ちます。

「鍵屋」はその後も様々な花火を開発して日本の花火界をリードし、現在は女性当主が鍵屋 15 代目として活躍中です。音にこだわり、日本古来の花火である“和火”復活に力を注ぐなど花火の魅力を高めていますので、ぜひ「かぎや～」と掛け声をかけてあげてください。

花火は夏の風物詩。今日も日本のどこかで花火が打ち上げられ、夜空に「鍵屋」「玉屋」の掛け声が響いているかもしれません。

平成25年度新座市硬筆展

特選賞 岡 廉太郎 (1-4)

優良賞 山中 比美己 (1-1)
永原 佳奈 (1-3)
岡 龍之介 (2-5)

学校総合体育大会朝霞地区大会 水泳競技

関口 瑠唯(3-3) 100mバタフライ 第1位 ※県大会出場

学校総合体育大会朝霞地区大会 陸上競技

近藤 宏紀(2-4) 走高跳 第1位
清野 玲奈(2-5) 共通女子1500m 第2位
共通女子 800m 第2位
清野 太成(1-5) 1年男子1500m 第2位

卒業生に学ぶ会

7月16日(火)の6校時、3年生は、昨年度卒業した10人の先輩から高校生活のようすや勉強方法、進路に関する悩みの解決方法などを直接学びました。図書室や各教室で真剣に学ぶ姿が印象的でした。



第六中学校区林°-チーム会議から

7月5日(金)に本校において、第1回のサポートチーム会議が開催されました。

第六中学校をはじめ、西堀小学校、新堀小学校、石神小学校それぞれの校長、PTA及び保教会会長が集まりました。また、新座市役所から教育相談センター、子ども家庭応援室、埼玉県からは南部教育事務所、関係機関である新座警察署、所沢児童相談所の皆様の参加をいただきました。

そのなかで、現在の第六中の現状と課題が報告され、今後、第六中学校区に共通する課題を探りながら連携を図っていくことを確認しました。



2年生福祉体験(車いす体験)

2年生は7月2日(火)の総合的な学習の時間に「福祉体験」で車いす体験学習をおこないました。

新座市社会福祉協議会や講師の先生から講話をいただいた後、実際に車いすに乗ったり、介助したりして校舎周辺を回りました。からだの不自由な方々の日頃のご苦労を知ることができただけでなく、介助する方の声かけの重要性やバリアフリーについてしっかりと考える貴重な体験となりました。



第六中学校区「心の声かけ運動」を実施

7月17日(水)、地域の教育力の再生を目指し、ふれあい地域連絡協議会主催して「心の声かけ運動」が行われました。これは、地域の多くの方々子ども達を見



守っていることをアピールするとともに、中学生の実態を把握し、学校と地域の連携を図ることを目的として行われるものです。次回は12月実施予定です。

非行防止教室

7月17日(水)、非行防止教室が行われました。

いじめ暴力は犯罪であること、携帯電話やスマートフォンの危険性、飲酒・喫煙について、自転車事故の注意など幅広く学ぶことができました。「自分のからだは自分で守らなければいけない」という生活委員長の伊藤さんの言葉が大変、印象に残りました。



<プール改修工事のお知らせ>

本校は、今年度、プールと体育館の改修工事を予定しておりますが、夏季休業中にはプールの改修工事を行います。その関係で、夏季休業中には北門(体育館側の門)の使用はできなくなります。三者面談等で来校の際は、正門側をご利用ください。

<夏期休業中の予定>

7月23日(火)・25日(木)・30日(火)・
8月1日(木)・6日(火)・8日(木) 福祉体験ボランティア
(殿山亀寿苑)

8月24日(土) 野火止クリーンキャンペーン
8月28日(水)・29日(木) 六中サマーセミナー

<2学期当初の予定>

9月 2日(月) 始業式
3日(火) 4日(水) 朝のコミュニケーション運動
14日(土) 体育祭
雨の場合は授業、18日以降に延期
17日(火) 振替休業日



サマーセミナーのポスター(生徒作品)